

～今、市民の森では！～



昆虫もたくさん載っています

作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin_bunka@yahoo.co.jp)
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

梅雨の晴れ間 (悦)

一週間前から天気予報は雨の真ただ中。諦めかけて座学の準備していましたが、前日、急に晴れマーク。誰の心がけが良かったのが、当日は太陽も顔を出しました。飛び交う蝶に「蝶だ!」、池では、水面に浮いてくるゲンゴロウに「出てきた!出てきた!」の歓声上がり、他愛無いことに一喜一憂。2回目のフィールド観察も盛りだくさんの観察ができました。矢張り、「百聞は一見に如かず」フィールドに出るのが一番です。



虫の居所 (矢)

虫の居所(1)
サイカチの虫こぶを開くと、可愛い子虫が...その正体は「サイカチマダラキジラミ」の幼虫だそう。



虫の居所(2)
笹の葉が丸まってる。コチャバナセセリにしては雑だなと思ったら、オオチャバナセセリの幼虫でした。



記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

ガイドブック2「森を楽しむ」は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。
《取扱所》 茅野市観光案内所 (茅野駅ビル2F)
原村 自家焙煎珈琲の店 香苺
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 ☎: 0266-75-1772

縞もよう (そ)

カツラとミズメの木の樹皮に魅せられました。カツラは、縦に筋をつけたような薄く剥がれ気味な木肌で グレーでオシャレ。ミズメは、スースースーツと横しま模様で灰色に光り、サクラの樹皮にも似て綺麗でステキ。

アサギマダラの卵(約2ミリ長)を拡大したらタテの筋がハッキリ見えました。



ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ) (渡)

図鑑をみたら原始的なアゲハチョウの仲間と書いてありました。羽根が他のアゲハチョウと異なっているからかな?



夏に向かって (吉)

あつという間に緑が濃くなり、道にも若い草たちがいっぱいです。エゾハルゼミの鳴き声と共に夏に向かって好きなトンボや蝶も顔を出し始めました。



シロシタホタルガの幼虫 食樹はサワフタギ

今日観察した昆虫 (馬)

蝶:②109~118

- オナガアゲハ ●ウスバアゲハ
- モンキチョウ♀
- ヤマキマダラヒカゲ
- クロヒカゲ ●コジヤノメ
- ヒメウラナミジャノメ
- クモガタヒョウモン♂ ●コミスジ
- イチモンジチョウ



- ルリタテハ ●コチャバナセセリ
- ツバメシジミ

蛾:②119, 120

- サカハチクロナミシャク
- シロシタホタルガ幼虫

トンボ:②127, 128

- カワトンボの一種
- イトトンボの一種
- ギンヤンマの一種
- シオヤトンボ♂
- サナエトンボの一種 (ダビドサナエカ?)

セミ:②129

- エゾハルゼミ

ハチ

- セイヨウミツバチ

その他

- カメノコハムシの一種
- ニワハンミョウ
- オサムシの一種

今日観察した花 (悦)

- ✿ヒメヘビイチゴ✿ヘビイチゴ
- ✿ウツギ✿ガマズミ
- ✿シロバナニガナ
- ✿アヤメ✿キラソウ
- ✿レンゲツツジ✿ハンショウヅル

地獄の釜の蓋 (SU)

「地獄の釜の蓋」だなんて、ひどい名前だと憐れんだら大間違い！この植物は地獄の釜に蓋をしてしまうほど薬効が高い、と感謝の意味を込めて名付けられたようです。



本名はキランソウ(金瘡小草)

ニガイチゴにびっしり (悦)



クマイチゴアブラムシです。(矢)



ニガキ発見！ (悦)



フタリシズカの花の構造 (悦)



雄しべの花糸
雄しべの根元の葯
雌しべ

これは？ 文(悦)写真(口)

コナラの葉先を丸めているのは誰？



この葉の切り方、葉の丸め方は、ミヤマイクビチョッキリ。丸めた葉の中に卵を産み、幼虫がここで育ちますから、揺籃・ゆりかごと呼ばれています。

むずかしい写真撮影 (黒)

カワトンボ(ニホンがついたか?)なかなか精悍な感じです。それに美しい。ハンショウヅル 長いこと夢に見たハンショウヅルにようやく会えました。写真がピンボケで悔しい。きれいな写真撮った人がいたら、ぜひ取り換えてください。



ハンショウヅルの写真取り替えました。



たらの木の芽 (大)

新芽の時には気がついてない棘がもう全身に身につけています。もう食べられません。なんて攻撃性強いのでしょうか。



サクランボ？ (矢)

可愛いサクランボ？でもちょっと毛深い。いえいえ、これはミヤマウグイスカグラの実です。さっぱりとした甘さとルビ一色が魅力です。



ポーズ (中)

突然の梅雨の晴れ間に植物も昆虫もいい表情を見せ、カメラのレンズに向かって「6月の森」の多様性を見せてくれました。市民の森は、可憐に咲く花々、色とりどりに飛ぶ蝶やトンボがポーズを決めて待っています。↓

フタリシズカ



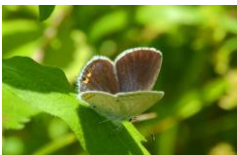
シロバナニガナ



ニホンカワトンボ



ツバメジミ♀ (中)



ハクケヨイ残った残った (口)

狭い葉っぱの土俵でクモとアリが「四つ相撲」をしています。スタッフB行司「食いつきで、クモの勝」物言いはなし。どうもこのクモは網は張らないようだ。はっきりとしないが、アリの足が4本にも見える、アリグモ？

